

# 陽だまり

## No.39

### 全小・中学校 母親代表研修会

#### 「親の立場でわが子の10年後、20年後を考える」

#### 〜今知っておくべきこと〜

講師 特定非営利活動法人キャリアプロジェクト広島 副代表理事 竹本 寛美



記念講演中の竹本寛美氏

平成24年度の母親代表研修会は、講師に元広島県PTA連合会会長の竹本寛美さんをお迎えし、「昨今の就職事情」、「学校や家庭での「キャリア教育」、「社会人基礎力」、「わが子の10年後・20年後は親でなく子どもにとってどうなのか」などについてのお話を聞くことができました。

会場には県内各地から400人を超える母親代表が集まり、終始熱心に研修されていました。

親として、母親委員として、理事としてはじめて参加したこの研修会の講演で印象に残ったことのほんの一部です。

「子どもの価値観は、親の価値観でなく、子どもを認めてくれた会社ではなく子どもにとって良い場所、働く場所を考えてやること。

また、役につくことの重要性！守らなければいけないことがたくさん出てくるといふことを先生が学校で教えて

ほしい。」と話されていました。

人との関わりの中で育つ力として「小学生は勤労観！自分が社会の中で果たす喜び。」「中学生は、職業観！どの様なことで社会との関わりを持つか、職業観について理解を深めていく。」「高校生は、専門性！偏差値だけで高校を選ばないで！」など、この部分では親の責任があるかもしれませ

「親（おとな）は、常に子どもに見られていて、仕事（役員）に就くといふことの重要性を子どもに教えているか？」「誰かが喜んでくれる。」「自分を必要としている」ということを教えているか？特に言葉遣い。親が守れているか？親が守っていると子どもも自然に守ってくる。また、元氣な「挨拶」が出来ない子どもが増えている。「子ども、親のあり方ともかわりがない」と感じました。

本当に考えさせられました。朝起きて夜眠るまで「がみがみ・くどくど」と子ども達に言っていたような気がします。研修会が終わる帰り路につく車の中で「猛反省」です。

講師のまとめの言葉の「今日からできることはわが子との関わり。」「今日の話を聞いて反省するばかりではなく、自分のできることから始めよう。」を思い起こし今日から実践あるのみです。

ありがとうございました。  
(広島県PTA連合会 理事 庄野知子)

### 研修会・分科会

#### アンケートから

##### 研修会

○キャリア教育の話が良かった。子どもには明日の希望があること。我が子のために今何をすべきかを考える良いきっかけとなった。

○ほめて育てる事、子どもにとって母親の位置が分かった。押しつけがよくない事を認識した。

○同じ母親・PTAの立場での講師であり共感・納得もできた。

○タイムリーな話で良かった。親の背中を見て子どもは育つと実感した。

○コミュニケーションの大切さを再認識した。子どもの意見を聴くことの大切さを感じた。

○PTA役員を受ける事は大変だが人とのつながりが財産になる。

○小学校の統合や講演の話を中心に意見交換ができ再確認できた。

○いろんな環境の違う役員の話が聞けて良かった。少人数制で話ができ良かったのも良かった。

○前向きなお母さんがとても多く、たくさん他の地域の人と交流がこんなに楽しいとは思っていませんでした。

○PTAだけでなく母親として共感でき、違う学年の母親の考え方も聞けて勉強になった。アドバイスをもらう事ができた。

○取り組み・活動の問題も同じであった。もっと時間があった。

(広島県PTA連合会 理事 古川アイ子)



# 広報紙コンクールあれこれ

## 全国小・中学校

### 広報紙コンクール

#### 〈受賞校に学ぼう〉

このコンクールは、昭和54年7月に始まり平成24年度で34回目を迎えます。

平成24年度は、各地方協議会での一次審査、日P全国協議会の二次・三次及び最終審査を経て、小・中学校各21校が表彰されました。

本県の最近の受賞状況は、平成17年度庄原市立東小学校PTA（日本教育新聞社社長賞）、同18・19年度大竹市立大竹小学校（特別賞・企画賞ほか）の2校であり、以後の受賞はありません。

なお、中国ブロック管内の状況を見ますと、山口県P内の受賞校が多く、なかでも中学校の部で、山口県防府市立国府中学校の「こうほう国府」が3年連続全国入賞継続中です。同校の関係者の取り組み（『優秀広報紙集』を読んで記事の作り方を徹底的に研究したり、あちこちを行脚し講習会を実施した）に学ばなければなりません。

また、同校の前PTA広報部長さん（山口県P連が主催して「広報紙の作り方研修会」を開催されているのも一因といえるでしょう）

当面、本県P連の広報委員会としては、①まず優秀作品や研修機会等が研修に努める ②そして広報委員自らが県P新聞「陽だまり」充実 ③これらを通して県P連主催の広報紙コンクール審査会の見直しなどに努めてまいりたいと考えてます。



## 広島県小・中学校 PTA広報紙コンクール 作品募集

### 〔主催〕

広島県PTA連合会（以下「県P連」という）

### 〔対象及び応募方法〕

- 平成24年4月～平成25年3月までに発行された全ての号を各2部提出する。（複製は受け付けない。また装飾や増強のための表紙はつけない）
- 発行回数は年2回（同じ題名のもの）以上とする。

### 〔募集メチ〕

平成25年3月21日(木)必着で県P連に送付する。

### 〔作品審査〕

- 県P連が行い、小学校6点以内、中学校4点以内を選ぶ。
- この作品を(社)日本PTA全国協議会事務局へ送付する。

### 〔基準〕

PTA広報紙の目的・使命・記事・編集・見出しなどを総合的に審査。

## 日本PTA年次表彰式

日時 平成24年11月22日(木)  
場所 ホテルニューオータニ

### □ 文部科学大臣表彰(団体)

安芸郡坂町立小屋浦小学校PTA

三原市立糸崎小学校PTA

福山市立幕山小学校PTA

### □ (社)日本PTA全国協議会会長表彰(団体)

豊田郡大崎上島町立大崎小学校PTA

福山市立大成館中学校PTA

### □ (社)日本PTA全国協議会会長表彰(個人)

加藤 千政 西本 博之

宮上 正好 赤木 俊二



加藤千政氏

西本博之氏

## 平成24年度 PTA実践事例集へ本県P連 から2事例が掲載決定

### 小学校の部

東広島市河内小学校PTA

### 中学校の部

尾道市PTA連合会

郷土愛を育むPTA活動  
様々な祭りへの参加を通じて

## 「たのしい子育て」 全国キャンペーン

### 三行詩コンクール受賞者決定

昨年12月、文部科学省及び(社)日本PTA全国協議会が共催したこのコンクールの審査が行われました。

応募総数 7万6725作品、うち中学生の部 2万6578作品の中から10作品が優秀作品に選ばれました。本県からは、呉市立下蒲刈中学校2年の實谷未来さんが佳作を受賞されました。誠にありがとうございました。

なお、表彰式は3月27日、文部科学省において行われます。

### 受賞作品

「父さんが いつも言う」

今日の学校どうだった

毎日きかれるこの一事

めんどくさいけど ありがたい



日本PTA全国協議会の資料作成事業として、昭和59年から始まった本事業は、本年度27号となる。

本号は、「家庭・学校・地域の『絆』を育むPTA活動」をテーマに、全国から寄せられた174事例の中から資料作成委員会による厳正な審査の結果、本県の上記2PTAを含む31の掲載事例が決定され、本年3月末日には発刊される予定です。

# 第42回日本PTA中国ブロック研究大会山口県しものせき大会

日時 平成24年11月18日(日) 場所 海峡メッセ下関

## 大会に参加して

広島県PTA連合会理事 村川 真一

中国山地の山々の彩の中にも冬の気配を感じさせる晩秋の11月18日(日)、中国地方5県・1市から20000名余りのPTA会員が山口県下関市に寄り集い「帰ろう家へ」〜笑いがたえない明るい家庭〜 熱い おやじ・あつたか かあちゃん」をテーマに、第42回日本PTA中国ブロック研究大会山口県しものせき大会が開催されました。

開会式前の受付セレモニーでは、馬関奇兵隊・下関よさこい連による元気いっぱいよさこい踊りがありました。下関よさこい連ではご当地の郷土芸能「平家踊り」や下関を象徴する歴史や食などを歌詞に織り込んだご当地踊りを創作し、今日のステージが初披露

露とのことでした。下関のすべての小学校で踊られるようになることを目指しているということで、私も、地元で同じように実践できたらよいなあといふに触発されました。

開会式の後には、3組の小・中学校のPTAによる実践発表でした。1校目は全校児童20名の下関市立殿居小学校で、学校と地域が協力・連携して食を通じた取り組みをすることによって、子ども達に「生きる力」を育んでいる活動でした。2校目は、全校生徒125名の長門市三隅中学校でした。親が子どものために一生懸命汗を流す姿を見せることで、子ども達に感動を与えることを目指して、有志によるバザーを企画したところ、20名以上の参加を得て、大成功をおさめたことなどを発表されました。3校目の岩国市立御庄中学校は、来年度で閉校する学校ですが、新校長先生のもと、学校活動などをすぐにブログにアップする取り組みや地域の方を講師として迎える取組みを通して、学校の様子がよく分からないといった意見をなくしたことを発表されました。校長先生のリーダーシップによって、学校が大きく変わった事例でした。

昼食をはさみ、午後の部の開始は、長門市にある油谷こどもミュージカルの「不思議な夜がやってきた」というミュージカルのアトラクションからでした。本大会用に1時間に短縮したバージョンでしたが、子ども達の躍動感あ



る踊りと歌には、圧倒され、完成度の高さに「ここまでできるものか」と感動しました。さすが宝塚ミュージカルコンクール金賞を受賞しているだけのことはあるなど本当に感心しました。

そして、記念講演は、生島ヒロシ氏の「キヤスターとして、親として」と題した講演でした。自身の留学体験やフリーとなつてからの紆余曲折の人生や金融・健康の話などを時折ユーモアを交えながら語られました。しかし、何と言つても昨年の東日本大震災で妹さんご夫婦を亡くされるという本当につらい経験をされたにも関わらず、前を向いて語る姿勢や被災孤児のために毎月継続して寄付をしている実行力には、力強い勇氣と元気をいただきました。下関市PTA連合会の準備・運営も行き届いた大会で、とても得るもの多い大会でした。

## お知らせ

### 平成25年度全小・中学校PTA会長研修会

日時 平成25年5月31日(金)  
13:00〜17:00  
会場 広島ガーデンパレス  
(広島市光町1の15)  
テーマ 「家庭の教育力向上をめざす学校・地域と連携したPTA活動」  
内容 13:00〜 全体会  
13:20〜 広報紙コンクール表彰式ほか  
13:20〜 講演  
講師・演題(調整中)  
15:20〜 分科会

「PTA活動の現状と課題」  
・講演と分科会を実施する。  
・分科会は、小・中学校別に計10分科会に分かれ、グループディスカッションする。

### 平成25年度全小・中学校PTA母親代表研修会

日時 平成25年12月7日(土)  
10:15〜14:40  
会場 広島県立総合体育館「武道場」  
広島市中区基町4-1  
テーマ 「笑顔で子育て」(平成24年度) 講演会(90分) 及び分科会(100分)  
特色 郡市P持ち回り開催から広島市での開催



# 鐘

▲今年の成人式で4人の子どもの内、3人が成人した。いつの間にか背丈だけでなく、態度も大きくなり、大人になっていった。残るは中学1年の長女だけ。もう少しばかり親業を楽しめそう。

▲「子どもは授かりもので預かりもの。いつかは世の中にお返ししなければならぬ。」という言葉聞いたが、まさにその通りだろう。社会に出て、いっばしに生活している姿を見ると、親の勤めを果たせたようで嬉しいものだ。▲しかし子育てから解放された反面、苦労や心配も沢山あったはずなのに、どことなく寂しさを感じるのは、子育てに追われていた時代が輝いていたからに違いない。▲今思えば、子育てできる時間はとても短い。だから一杯味わって欲しい。▲親の願いが多くの会員や子どもたちの心に響くことを願って、このコーナーは「鐘」と名付けられたようだ。先輩会員から30年の長きに亘り引き継がれた思いに感謝すると共に、今後も親の思いを発信する新たな広報紙の発刊をめざし「鐘」のコーナーは幕としたい。

(K)

## 広島県P新聞と「鐘」

「鐘」のコーナーが終了したところから、本コーナーと県P新聞のかかわりについて振り返ってみたい。

昭和57年3月1日発行の「広島県PTA新聞」第629号から「鐘」の掲載が始まり、平成12年3月1日の第838号が本新聞の最終号となった。

平成12年7月からは、名称を「県P連だより」に変え、会員の皆さんに親しまれるお便りとして発行してきた。

平成22年度、県P連発足60周年を区切りにあたり、会員から新聞のタイトルを広く募集し、子どもたちにとって、家庭、学校、地域が温かく心温まる居場所となることを願って「陽だまり」と変更した。しかしながら、「鐘」は継続し、30年もの間に、約250回を数える。

この内容は、「親・保護者・おとなとしてのあり方」「PTA活動への関わり」「子どもに対するしつけや育て方」「一般教養的内容」などをテーマに、文字どおり警鐘を鳴らし続けてきた。

しかし今日、長年執筆頂いてきた方々のご辞退、新たに依頼してきた方々の執筆期間終了や県P連新聞編集計画の見直しなどもあり、県P連理事会などで協議した結果、平成25年2月発行の39号をもって、「鐘」のコーナーは終了することとなった。

## 広報委員紹介



## 充実の補償で お子様を サポートします

●誤って他人のものを壊したり、他人にケガをさせてしまったら…  
(加害事故の補償)

インターンシップ(職場体験)やアルバイトに起因する賠償責任も対象となります。

●授業中やクラブ活動など、校内外を問わず発生する急激かつ偶然な外来の事故によるケガや病気\*の補償

\*病気入院補償はWプランのみ対象です。



## 団体割引適用で 割安な保険料!

(注)動産総合保険(携行品一式特約付帯)には、団体割引による割引は適用しません。  
スクールメディカルデスク24でお子様の健康相談を24時間受付

●学校管理下中の学用品・身の回り品などの補償  
●育英費用等

充実の補償でお子様をサポートします。

## 広島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度はこども総合保険・動産総合保険(携行品一式特約付帯・学校管理下中のみ担保)のペットネームです。この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。  
平成24年6月作成 募文No12-T-01740



引受幹事保険会社

## 東京海上日動火災保険株式会社

お問い合わせ先・取扱代理店：(株)東海日動パートナーズ広島 保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支社

TEL：0120-018-217  
TEL：082-511-9194

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

共同引受保険会社

MS&AD 三井住友海上火災保険株式会社